

研究課題名	膝蓋骨脱臼患者に対する制動術後成績に関する研究
研究の意義・目的	反復性膝蓋骨脱臼患者に対しては制動術が考慮されます。患者の大部分は膝蓋骨や大腿骨に解剖学的特徴を有します。制動術後、不安定性の残存する症例があり、その原因として膝蓋骨・大腿骨の特徴、手術方法、術後リハビリ、再損傷、術後疼痛などの要因が考えられます。本研究では、制動術手術の術前評価、術式、術後評価を行うことにより術後成績に影響する因子を明らかにすることを目的とします。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可日 ～ 2027年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2007年1月1日～2027年3月31日に下記の機関で、膝蓋骨脱臼患者のため受診され手術を受けた方が対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受けて研究します。 <input type="checkbox"/> 大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします。 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます 患者基本情報、検査データ、診療記録、画像データの匿名化した情報を研究に使用致します。
試料・情報の他機関への提供	この研究は他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター 【研究責任者】山崎 真哉 運動器ケア しまだ病院 【研究責任者】富原 朋弘 大阪府済生会中津病院 【研究責任者】西田 洋平 医療法人 いずみ会 阪堺病院【研究責任者】新熊 孝文 医療法人 貴島会 貴島病院本院 【研究責任者】池田 樹広 泉大津市立病院 【研究責任者】寺岡 貴徳
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学・研究代表者 橋本 祐介
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 研究責任者 橋本 祐介 住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 : 06-6645-3851 FAX : 06-6646-6260 E-mail: seikei@med.osaka-cu.ac.jp